

2007年12月5日

建築用板ガラス製品・鏡製品の価格改定を実施

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、建築用板ガラス製品及び鏡製品の販売価格を、2008年1月1日出荷分より10～20%引き上げることとしました。

現在、建築用板ガラス製品・鏡製品については、製造工程で使用する重油などの燃料や、珪砂・ソーダ灰を中心とする諸原料の価格が高騰しており、「燃料チャージ制」等によるこれまでの価格改定や生産コストダウン等の企業努力だけで吸収することは限界となっています。

このような状況の下、建築用板ガラス製品及び鏡製品の販売価格を、燃料チャージの改定分と本体価格の改定分を合わせ、10～20%引き上げることとしたものです。

なお、当社として著しく採算性が悪化している販売ルート向けの価格改定については、個別に交渉を行い、販売価格の是正を進めていきます。

※燃料チャージ制：販売価格を高硫黄C重油のチャンピオン価格に連動させて変動させる制度で、当社では2006年6月より導入している。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：旭硝子株広報・IR室長 川上 真一

(担当：箕田 TEL：03-3218-5408、E-mail：info-pr@agc.co.jp)